

## 定例記者会見市長挨拶

令和4年2月16日（水）午後3時から 庁議室

記者の皆様には、お忙しいところ定例記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日ごろから市政に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、まん延防止等重点措置が延長されるなど、引き続き予断を許さない状況が続いております。市としましても、感染拡大の防止と社会経済活動の両立を図るため、引き続き関係機関と連携を図りながら迅速に対策を講じてまいります。

ワクチン接種についてであります。国が示した対応方針に基づき、昨年12月から医療従事者等への3回目接種を開始し、現在は、高齢者等への接種を順次進めております。今後も、5歳から11歳への接種も含め、引き続き、万全の接種体制を整え、希望する市民の皆さまが安心・安全に接種できるよう対応してまいります。

本年も、新型コロナウイルスと共存していかなければならない現状において、市民の暮らしを守り、活力と安心を取り戻すことができるよう、市民の皆さまのご協力のもと、ワクチン接種をはじめとする感染拡大防止対策はもとより、経済活動と支援策を積極的に展開し、市民が希望を持ち、安全、安心に暮らせる「まち」の実現を目指し、市政運営に全力で取り組んでまいります。

さて、令和4年度の予算編成ですが、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に伴い、市税収入がコロナ禍<sup>まえ</sup>前の水準に回復するには、時間を要する状況であることから、財政調整基金をはじめとする各種基金を活用し、市民サービスの維持・拡大を図ったところであります。

また、総合計画「NARITAみらいプラン」に掲げた「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まち なりた」の実現に向け、事業の選択と集中を行うことにより、限られた財源を重点的かつ効率的に配分し、市民サービスの向上や新たなまちづくりに積極的に取り組むとともに、アフターコロナを見据え、観光業、商工業、農業に対する経済対策などを強力に推進することにより、一般会計では、対前年度比2パーセント増の624億円、特別会計及び地方公営企業会計を加えた全体では、2パーセント増の約948億円の予算を編成いたしました。

主要な施策につきまして、その概要を申し上げます。まず、経済対策といたしまして、観光施策では、本市の主要観光行事である成田太鼓祭、成田祇園祭、成田伝統芸能まつり、及び成田弦まつりの3年ぶりの開催に向けて、内容の充実を図ってまいります。また、新たなイベントとして、5月に成田市御案内人・市川海老蔵丈のご協力をいただきながら、「歌舞伎のまちナリタ」をPRするため、「成田伝統芸能まつり 春の陣」を実施してまいります。また、商工業振興施策といたしまして、第3弾の「なりた地域応援プレミアム付商品券」を発行いたします。

次に、市民生活への支援施策では、子育て世帯への支援といたしまして、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、現在、中学校3年生までとなっております、子ども医療費助成の対象を本年4月から、高校生相当年齢の子どもまで拡充してまいります。また、学校給食につきまして、市立の小中学校等に通う第3子以降の児童・生徒の給食費を無償化し、保護者の経済的負担の軽減を図ってまいります。

次に、交通安全対策といたしまして、近年、高齢ドライバーによる悲惨な交通事故が全国で後を絶たないことから、高齢者による事故を未然に防止する

ため、自主的に運転免許証を返納した高齢者に対して、1万円相当の交通系ICカードを交付することにより、自主返納を促進する取り組みを行ってまいります。

また、子育て世代への臨時特別給付金事業では、今回の給付金の対象に含まれなかった、児童手当の特例給付を受給している多くの方々からのご意見をいただいている状況のなか、国の制度を補完し、市独自で新たに支給対象とし子ども1人当たり10万円の「なりた子育て家庭への臨時特別給付金」を支給してまいります。

さて、3月議会に提案を予定しております議案の詳細につきましては、この後、「総務部長」並びに「財政部長」よりご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上、本日の定例記者会見にあたっての挨拶とさせていただきます。